

お試し 号外！ おおさか剣道かわら版(仮称)

剣道・居合道・杖道大好き！ みんなの情報誌 です！

発行責任者
公益社団法人
大阪府剣道連盟
広報 Pj

コロナに負けるな！居合道部活動だより

R3.4.3(土)、4(日)に令和3年度 特別講師居合道講習会が行われました



昨年コロナ禍で中止になった講習会、今年は桜満開の大阪城内修道館で開催されました。例年なら全剣連後援講習会として開催されるところ、今年もコロナ収束せず、大阪独自の講習会となりました。万全の感染防止対策を敷いているとはいえ、大阪府のコロナ新規感染者が連日 600 人を超える中、講師を引き受けていただいた全日本剣道連盟居合道委員会 委員長 草間純市先生、ありがとうございます。万全の感染防止対策を講じて、「新しい活動様式」とともに講話を通じて「新しい居合道人」をもう一度目指そう。武士道を指針として、もう一度居合道修行を考えてみよう。



…その前に

・今ことさらに「武士道」を言い立てるのは、

過去から引きずって来た体質を変えなければ。

・指導者として、武士の魂といわれる刀を持って居合をやっている。居合に取り組む姿勢も、「ただ稽古をする」というところから「修行をする」に変わらねば。

・「直心是道場」居合道、道がついています。皆さんがいるここは「道場」です。道場は自分自身を磨く場所。道場と名がついているから「道場」なのではなく、人の道、居合の道、自分の道を探すために今いるところがすべて「道場」なのです。

・宮本武蔵の言葉に「我以外皆我師」居合とは何ぞや、

武道とは何ぞや----それを自分に問いかけて自分自身を鍛えて、人間形成につなげてください。

・新渡戸稲造博士は、「武士道」を日本の倫理規範として、欧米の「宗教」に対して対置しました。武士道を「ノブレス オブリージェ noblesse oblige」----高き身分の者に伴う義務----として、武士は日常生活で守るべき道だとしています。

・武士道の七つの徳目とは

名誉、分、節義、勇、礼、忠義、仁
民主主義の現在では特権階級は存在しませんが、**私たち皆が「義務」を意識し、与えられた使命を全うすることが武士道の大切な精神であると思います。**

今日のテーマは「指導技術の向上を図る」

1. 「**剣道の理念**」をより深く認識し、高い水準の居合を目指す
正しい基本動作の習得に重点を置き、その徹底を図る。
2. 「**礼儀・作法の徹底**」を行う
 - ①正しい姿勢と着装
 - ②対敵動作としての仮想敵の意識
 - ③『礼儀』を重んじる指導
3. 「**気・剣・体の一致**」を意識した指導を行う
 - ①充実した氣勢
 - ②正確な刀法
 - ③適正な姿勢及び体の運用を図る
4. 「**構え**」の意義と研究
 - ①中段 ②上段 ③下段 ④八相 ⑤脇構え
5. 「**危険防止**」に気を配る



今日の目から鱗 KEYWORD

- ・指導するとは、教えるとは、学ぶこと
- ・指導技術の向上とは、
評価は誰でもできる
どうすればよいか教えること
- ・作法の中に礼法あり
- ・所作を極めれば無駄な動きがなくなる
- ・気剣体の一致、
腰から入る、
直角でなく二等辺三角形の重心移動

まとめ ・「三省」

八段に昇段したときに新潟県剣道連盟の当時会長だった山田庚児先生から頂いたことば、これを手拭いにして記念にしたそうです。論語の学而に「我日に我が身を三省す」人の為に謀りて忠ならざるか、朋友と交わりて信ならざるか、習わざるを伝えしか。



・こんな言葉もあります。

「武士道とは戦いに臨み、勝のみ思うにあらず、武の備え周到にして戦わずして謀を良くなし世を治めること也」居合をやって自分を高めようと思っているとは皆同じだと思います。居合をやって自分自身が誇りと責任と自分自身を正しく導いているという信念を持っていたら、居合もちょっといいものに思えてくるのではないのでしょうか。

居合は上手か下手かではありません。一所懸命やるかやらないかです。一所懸命にやっていれば先生が言われたこと、周囲の言うことが正しく自分の中に入ってくるはずです。それが上達への一番の近道です。好きになること、自分自身に誇りと信念を持つこと。己の心に誠と信念を貫く気持ちをしっかり造り上げていただいたら、とても面白い居合ができると思います。



居合の体験ができる道場を紹介します

場所	大阪市立修道館(大阪城内)
日時	毎週 火・木曜日 19:45～20:30
詳細	https://iai-dojo.jp/dojo/887.html

参加者	第1日目	第2日目
五段	23	25
六段	17	19
七段	30	25
八段	5	5
計	75	74 名



(大阪府剣道連盟・理事・居合道部 黒木教夫)